

本籍 和歌山縣那賀郡東貴志村大字岸小野

和歌山縣津注 高山 興四郎 (二四)

現場ニ張込中デアツタ出中警部補ノ一隊ニ依テ追跡檢舉シ、更ニ合同紡績天満工場細漁員トシテ黨勢力強化ニ努メテキタ同職工久保出恒雄(一九)、衣川重夫(二二)等ノ檢舉ヲ動機トシテ、内務省並ニ當地方裁判所檢舉局金山檢舉正ノ指揮ヲ受ケ、從來ヨリノ内偵資料ニ基キ、黨重要人物檢舉ヲ主眼トシテ順次檢舉ノ範圍ヲ擴大スルニ至ツタ。而シテ以上三名取調ノ結果、之等ノ上部機關ガ翌十三日正午東區餌差町長谷タツ方外語生木下武雄ノ下宿ニ於テヒラ撒ノ狀況報告ヲ受ケルトイフコトガ判明シタノチ警戒中同日正午頃容疑人物ガ立廻ツタ。張込中ノ玉造署池田、宮本兩刑事ハ頑強ナ反抗ニモ屈セズ格闘ノ上遂ニ逮捕シタ。同人ハ、

本籍 東京市錦町區有樂町一ノ四

服部 麥生 (二六)

大正十三年十二月、春日庄次郎(三・一五事件被告)等ト共ニ在露東洋勤勞者共產主義大學第一期生トシテ入黨シ約二年半ニシテ卒業、引續キ日本人學生ノ通譯トシテ滯留中デアツタガ昭和四年四月(四・一六事件直後)歸還同年十二月中旬黨中央委員佐野博カラ大阪地方ニ於ケル日本共產黨並ニ共產青年同盟再建ノ使命ヲ受ケテ下阪シ、爾來黨ノ中堅トシテ活動シテキタモノデアル。

更ニ全月十九日、市内港區南恩賀島町五番地吉出方、黨員補山通ノ隣家ヲ張込中午后一時頃

黨員 井口 武雄

翌二十日午后二時頃

大阪地方委員會 緒方 山本 泰義
第二地區責任者

ノ兩名ヲ檢舉シ、之等ノ取調ニ依リ同二十一日府下豐津村字垂見樂山出治作方、瀧大生今村茂ノ下宿ニ於テ、